

行雲流水

No.262 令和4年11月2日発行

「学びの成果」を発信する

校長 寒河江 正人

生徒諸君。

「**学習発表会**」おつかれさまでした。

3年生は、「**岩手・宮城への研修旅行**」を通して得られた「**学びの成果**」、

2年生は、「**県内の大学・短大・専門学校などの上級学校訪問**」の「**学びの成果**」、

1年生は、「**地球規模で考え、行動すべきSDGsについて**」の「**学びの成果**」。

今年の学習活動を通して、どんなことを体験し、どんなことを考えましたか？

どんなことに興味・関心をもち、どんなことを知りたいと思いましたか？

体験や調べ学習などを通して、これからの自分は、どんな行動が必要だと感じましたか？

タブレットPCを使い、**パワーポイント**を駆使して、プレゼンした人もいます。

大判用紙にまとめて、**ポスターセッション形式**で、プレゼンした人もいます。

ニュース形式にまとめたり、**劇**にして、プレゼンした人もいます。

「**探究・発信の手段**」は、**多種多様**です。

「**工夫の可能性**」は、**無限大**です。

生徒諸君の「**学習能力の伸びしろ**」も、**無限大**です。

諸君の発表を見て下さった保護者の方々とお話をしました。

民生委員・主任児童委員の方々ともお話をしました。

「**今の時代の子たちは、自分でタブレットPCを操って、こんなことができるんですね。**」

「**これからの時代は、こういうことを、こういう学び方をしていくんですね。**」

皆さん、口々にこう語って下さいました。

現在、県教育委員会では「**これからの高校入試選抜の改革**」が、話し合われています。

そこでは、まさに、こうした「**総合的な学習の時間**」の**学びの成果**が問われています。

委員の間では、「**中学校の現場は、本気になって改善が必要なのではないか。**」という意見が交わされています。

新しい未来を生き抜く生徒諸君には、**欠かせぬ学習能力**なのです。